

平成 26 年 1 月 11 日

少年二段補受検「空手道について」

西東京本部 浜田山支部
畠山 拓巳

ぼくが、月心会に入会したのは 7 年前の秋でした。
始めた時のぼくのゆめは、家族全員で黒おびになる事でした。
そのゆめは、僕が少年初段にしょうだんして叶いました。
今回、二段補にチャレンジします。
次のゆめは、空手の先生になりたいです。
そのゆめを叶えるために、練習をしています。
だけど、教える時に大人の練習生に気を使ってしまう事があります。
だから、練習生の気持ちを分からなくちゃいけないのかなと思います。
その他に、ぼくは組手の練習は楽しいけれど、型の練習は少し苦手です。
なぜなら、おぼえなくてはいけないむずかしい型がたくさんあるので、好きな組手の練習に力を入れてしまいます。
その時、どういふ努力が必要かという、型も組手も同じくらい一生けんめい練習して自分の心や体が強くなる事が大事だと思います。
他には、技を教える時に練習生にやさしくする事も大事だと思います。
そしてぼくは努力してみんなに強くなってもらいたいです。
これがぼくにとっての空手道だと思います。
次の目標は少年二段にチャレンジしたいです。